

第22回環境地質学シンポジウム

主催：地質汚染 - 医療地質 - 社会地質学会 準主催：Japan Branch of IUGS-GEM

共催：(独)産業技術総合研究所，日本情報地質学会，日本鉱物科学会，日本地質学会
環境地質部会，日本第四紀学会，内閣府認証(NPO)日本地質汚染審査機構，
Japan chapter of IMGA

期日：2012年12月7日(金)・8日(土)

会場：産業技術総合研究所(つくば) 共用講堂

(つくばエクスプレス：秋葉原駅～産総研つくば中央：約65分， バス：東京駅八重洲南口～産総研つくば中央：約70分)
地図HP http://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/pdf/info_desk.pdf

参加費(論文集込み)：社会地質学会員 5,500円 非会員 7,500円 *非会員で共催・協賛団体会員は非会員費用から一律1,000円引

特別講演：千葉県地質環境研究室 理学博士 風岡 修 氏

「強震時に発生する液状化 - 流動化現象・地波現象」

開始時間	演題・演者
10:00	開会のあいさつ 駒井 武 社会地質学会会長
	地質汚染・有害地質およびその対策・共存
10:05	ため池底質中の重金属元素と球状炭化粒子を用いて解明する大気汚染履歴の有効性 - 京葉臨海地域を例として - 吉野友美(早稲田大学理工学術院)・谷澤利典・山崎秀夫・香村一夫
10:20	南北海道地域に分布する火山灰土壌の有害汚染物質吸着特性に関する基礎的検討 平岩良太(早稲田大学理工学術院)・吉良彰徳・香村一夫
10:35	Dehalococcoides 属細菌によるクロロエチレン類の分解適正条件の検討 吉川美穂(ケミカルグラウト)・竹内美緒・張 銘・駒井 武
10:50	VOCs 地質汚染の原位置浄化における物質移行に関する考察 張 銘(産総研地圏資源環境)・吉川美穂・竹内美緒・駒井 武
11:05	建設残土石の倉庫・住宅予定地における医療地質学的植生再生研究 - その3 楡井 久(医療地質研)・木村和也・檜山知代
11:20	汚染源が不明な鉛汚染土壌の地球化学的特徴 高階義大(洛菱テクニカ)
11:35-11:45	総合討論
11:45-12:40	昼食
12:40-13:00	一日目発表のポスターコアタイム
	古環境の変遷と地質環境の形成過程・長期安定性及び地下水益管理と地質環境資源の持続的利用
13:00	富士山北麓の西湖・精進湖周辺の水循環から探るクニマス生息環境と赤池出現プロセス 興水達司(山梨県立大)
13:15	石狩低地帯における地下温度プロファイルの測定 丸谷 薫(北海道総研地質研)・森野祐助
13:30	千葉県に設置された観測井における孔内地下水の深度方向の温度分布 古野邦雄(千葉県地質環境研)・香川 淳・吉田 剛・風岡 修・酒井 豊・楠田 隆・加藤晶子・岡部隆男
13:45	根釧平野の水理地質基盤構造図の作成 森野祐助(北海道総研地質研)・丸谷 薫
14:00	北海道に分布する赤色土 最終間氷期における赤色土の生成北限 仲川隆夫(環境地質研究者)
14:15	琵琶湖高島沖試料中の生物源シリカ含有率からみた過去約13万年間の古環境変動 根上裕成(早稲田院人間科学)・中西俊貴・喜岡 新・井内美郎
14:30	新潟県佐渡島西三川砂金山における中期中新世の赤色風化作用と江戸時代(1841年)の記録からみた移行時の状況 仲川隆夫(環境地質研究者)
14:45	関東平野の沖積層において新たに発見された陸域における微生物による嫌氣的メタン酸化活動 竹内美緒(産総研地圏資源環境)・吉岡秀佳・徐 維那・田辺 晋・玉木秀幸・鎌形洋一・高橋 浩・猪狩俊一郎・真弓大介・坂田 将
15:00	2011年東北地方太平洋沖地震後の千葉県九十九里浜におけるメタンガス湧出範囲の変化 ポスター 吉田 剛(千葉県地質環境研)・風岡 修・古野邦雄・香川 淳・楠田 隆・木村満男
15:05	九十九里平野中部における上ガスの分布と地質環境 2011年東北地方太平洋沖地震の影響も含めて ポスター 風岡 修(千葉県地質環境研)・風岡 修・古野邦雄・香川 淳・楠田 隆・酒井 豊・吉田 剛・加藤晶子・山本真理・高梨祐司
15:10	千葉県における東京湾岸の埋立地層・自然地層の地下水位と地下水中の塩化物イオン濃度について 吉田 剛(千葉県地質環境研)・栗原正憲・風岡 修・加藤晶子・楠田 隆・古野邦雄・香川 淳
15:25	茨城県潮来市における土砂掘削凹地を埋積した人工地層の形成過程 宮城輝一(大阪市立大院地球)・三田村宗樹・楡井 久
15:40-15:50	総合討論
16:00-17:00	特別講演 強震時に発生する液状化 - 流動化現象・地波現象 千葉県地質環境研 風岡 修 理学博士
	地質災害と対策
17:00	活褶曲地帯における地震による斜面変動について 小荒井衛(国土地理院地理地裁活動研)・中埜貴元・岡谷隆基・小松原琢・黒木 貴
17:15	山形県小国町の地形・地質の生い立ちを知る - 沖庭山の成り立ちと防災 川辺孝幸(山形大地域教育文化)・高橋 史・山形県立小国高校地域文化学平成24年度1班・平成23年度1班
17:30	2008年に発生した荒砥沢巨大ブロックグライドのこの四年 初倉克幹(減災地質コンサル)
17:45-17:55	総合討論

開始時間	演題・演者
	Geo-ethics (地球倫理)
10:00	新セッション(Geo-ethics)について あいさつ 駒井 武 社会地質学会会長
10:10	地球倫理学の現状と将来 西脇二一(奈良大学社会)
10:25	資源産業の社会的責任と倫理をめぐるいくつかの論点について 村尾 智(産総研地圏資源環境)
10:40	ベトナムの鉱物資源開発をめぐるガバナンスの諸問題 ポークサイト開発に関する政府・企業の説明責任 中野亜里(大東文化大国際関係)・村尾 智
10:55	リスク評価を目的とした非鉄金属鉱山からのカドミウム廃棄量推定 小野恭子(産総研安全科学)
11:10	地球情報処理における検証過程 西脇二一(奈良大学社会)
11:25	Government versus governance for mineral development: a case study on the bauxite issue in Vietnam Satoshi MURAO(AIST) and Ari NAKANO ポスター
11:30	Culture of the informal mining sector and its implications on the applicability of ethical jewelry: key consideration points from the case of Paracale, Camarines Norte, Philippines ポスター Erika M. Rey-Saturay(Anthropology Univ. Philippines) and Satoshi MURAO
11:35-11:45	総合討論
11:45-12:00	ポスターコアタイム
12:00-13:00	昼食
13:00-14:00	社会地質学会総会
	東日本大震災 強震動とこれに伴う地質災害 地震動・強震被害・液状化・流動化
14:00	房総半島で観測されたやや長周期地震動に関する検討 2011年東北地方太平洋沖地震の地震動観測結果から 酒井 豊(千葉県地質環境研)・加藤晶子・楠田 隆
14:15	利根川下流域低地における液状化・流動化現象 -2011年東北地方太平洋沖地震と1987年千葉県東方沖地震での比較- 古野邦雄(千葉県地質環境研)・楠田 隆・風岡 修・香川 淳・酒井 豊・吉田 剛・野崎真司・菅野美穂子
14:30	東北沖地震(2011)による液状化・流動化現象と東京湾岸埋立地の沈下 香川 淳(千葉県地質環境研)・古野邦雄・楠田 隆・酒井 豊・吉田 剛・風岡 修
14:45	液状化サイト採取コア試料の堆積学的特徴評価 稲崎富士(土木研)
15:00	2011年東北地方太平洋沖地震での東京湾岸埋立地における液状化・流動化現象 - 千葉市美浜区南東部での液状化・流動化層準 風岡 修(千葉県地質環境研)・古野邦雄・香川 淳・楠田 隆・酒井 豊・吉田 剛・加藤晶子・山本真理・堀井義久・麻生 等・佐藤光男・高梨祐司 仙台市民として感じた都市の問題点 ポスター 黒澤美智子
	東日本大震災 地震に伴う津波・環境汚染とその対策 津波・放射能汚染・震災汚染・対策
15:15	局所的地形と放射能地質汚染の関係 木村和也(医療地質研)・中臺大幾・楡井 久・檜山知代・吉田 剛
15:30	福島第一原子力発電所の原子炉事故で発生したふたつの巨大放射能地質汚染ブリウム 楡井 久(医療地質研)・上砂正一・木村和也
15:45	飯館村での放射線量単元調査 上砂正一(環境地質コンサル)・愛田義昭・香川 淳・木村和也・楠田 隆・佐藤藤一・布施太郎・古野邦雄・増田俊壽・楡井 久
16:00	放射性物質を含む除去土壌の処分に係る課題について 高嶋 洋(野田市環境部)
16:15	2011年東日本大津波の調査で明らかになった津波痕跡調査上の問題点 川辺孝幸(山形大地域教育文化)・志岐常正
16:30	東日本大震災における仙台平野稲作地の津波被害に起因する塩害分布とその浄化法の検討 宗田和希(早稲田大学理工学術院)・野口周平・香村一夫
16:45	比較的安価な非常用災害井戸の設置例と利用上の注意点 岡野英樹(アステック東京)
17:00	震災復興に向けた水文地質情報の発信 丸井敦尚(産総研地圏資源環境)
17:15-17:45	総合討論
18:00-18:20	講演賞・奨励賞表彰・閉会
	*表題・著者名は申し込み時のものです。事前の発表取り消しなどの情報は社会地質学会ホームページにてご確認ください。 **ポスター表記のない発表は口頭発表(持ち時間15分)です。ポスター発表は、その日のポスターコアタイムにポスターの説明と、各セッションの際に5分間スピーチがあります。

***企業展示、本学会の書籍展示・注文などを予定しています。書籍は当日参加者に限り定価の半額にて注文いただけます。

詳細情報等はHP：<http://www.jspmug.org/> まで

その他問い合わせ先：〒261-0005 千葉県千葉市美浜区稲毛海岸3-5-1 千葉県環境研究センター 地質環境研究室 地質汚染-医療地質-社会地質学会 第22回環境地質学シンポジウム担当(043-243-0261)